



September

防災家族会議を開きましょう！

ほけんだよ！



防災家族会議のポイント



「ハザードマップ」は、いざというとき見たのでは遅いのです。
家の周りの災害のリスクを、しっかりチェックして備えましょう！

●避難場所・集合場所

家族が一緒にいるときに被災するとは限りません。避難所の確認と集合場所を家族で確認しましょう。



●連絡方法

スマホが使えなくなる場合もあります。どこにどのように連絡を取るのか、また災害用伝言ダイヤル(171)の使い方もお子さんと一緒に確認しておきましょう。



●非常用持ち出し袋・備蓄

中身の確認をしましょう。期限切れの食品や薬品などありませんか。停電への備えも忘れずに！



視力再検査

9/30～10/9中休み

4月の定期健康診断で裸眼視力がB以下、矯正視力がC以下で、まだ医療機関を受診していないお子さんを対象に、視力再検査を行います。結果を持ち帰りますので視力の低下がみられるお子さんは、早めに眼科の先生にご相談ください。



まだまだ暑い日は続きそうです

■暑くて長い夏休みでしたが、子どもたちはすぐに学校の生活リズムに慣れ、「学びの公開日」に向けて頑張っています。ただ、これだけ蒸し暑い日が長く続く今年の夏は、体力をかなり消耗しています。たっぷり睡眠時間を取って、朝ご飯をしっかりと食べて送り出してください。そして、大人のみなさんもご自愛ください。

救命ドリル「スクーマン」

保健室で今年度購入した心肺蘇生の練習キットです。実際には子どもが心肺蘇生を行うことはないかもしれませんが、AEDの場所を知っていること、救急車の呼び方や大人に助けを求めること、心肺蘇生の一連の流れを知ることが、いつか誰かの命を助けることにつながるかもしれません。今は健康給食委員会の子どもたちと実習しています。全校の子どもたちに教えられるようになってほしいなと期待しながら。



結核・呼吸器感染症予防週間 9/24～9/30

結核は呼吸器感染症の一つで、昔のものと思われがちですが、今も世界で毎年100万人以上が命を落としています。2週間以上続く「咳・微熱・息さ」は、医療機関を受診しましょう。また、「体重減少・食欲不振・寝汗」にも注意しましょう。「結核・呼吸器感染症予防週間」は、正しい知識を広めるためにもうけられています。ぜひ、結核予防会のホームページで詳しい情報をご覧ください。

〈歯の指導〉6月
〈目や姿勢の指導〉10月
〈心と体の指導〉

- 1年生①からだをきれいに
②みんななかよく
- 2年生①おへそのひみつ
②これっていじめ?
- 3年生①知らない人について
いけない
②わたしの誕生
- 4年生①新しい命のはじまり
②思春期に起こる体の
変化
- 5年生①大きくなる心と体
②こんなときあなたなら
- 6年生①これっていじめ?
②思春期の心



すくすくタイム(保健指導)

保健指導「すくすくタイム」では、児童の実態に即した学級指導を行っています。保健指導の年間指導計画は左記の通りです。

「歯」や「目」の全体指導の他、「心とからだの指導(性指導)」があります。その他学年の実態に応じて保健指導を計画実施しています。子どもたちが時々持ち帰る「すくすく」では、健康安全の指導を子どもたちがわかりやすい言葉で担任が行っています。



なお、「心とからだの指導(性指導)」については、学年によって保健学習や道徳等と一緒に指導する場合もありますので、実施時期は学年便り等をご覧ください。

消火器の使い方 ポイントは3つ!

天ぷら油から火が出た!こんなときは、素早い消火が大切です。ふだん使うことがない消火器ですが、いざというとき慌てないように、年に一度『救急の日』には、使用方法を確認しておきましょう!実際に試すことができないので、地域の防災訓練などに参加して練習するのはお勧めです!!

①

床に置いて黄色いピン(安全栓)を引き抜きます。



②

ノズルを火元にしっかり向けます。

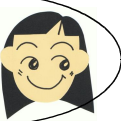


③

レバーを強く握り、ほうきで掃くようにノズルを動かします。



子育ての
つづき



私が先生になりたての頃の出来事です。女子トイレの壁に男女が裸で抱き合っている落書きが見つかり、大騒ぎになりました。3.4年生が利用しているトイレなのですが、落書きの内容から高学年女子が疑われました。そのときは、全体指導にとどまり誰が描いたわかりませんでした。ほどなくして、保護者から別件で相談があり、3年生の女子が描いたことがわかりました。お母さんが仕事から帰ると、娘とクラスの男子が裸で布団の中にいたというのです。さぞかし驚いたことでしょう。仰天して学

校に電話が入りました。この子たちはアダルトビデオをこっそり見ているうちに、なんだかわからないけれど不思議で面白くなり、そのうち同じことやってみようということになったようです。子どもはいいことも悪いことも真似をして成長します。親が隠していたビデオを盗み見るわくわく感や、なんだか面白そうだから真似をしてみただけで、幸い問題行動にはつながりませんでした。

当時は大人が気をつけることで、子どもにとって有害なものを排除することは可能でした。しかし今は、スマホやタブレットなど様々なデバイスを持つ子も多く、多様化するアプリやSNSで、大人が見せたくないと思って触れる機会が多くなっています。見ようと思っていなくても、偶然目にすることもあるでしょう。以前、見たくない画像を偶然見てしまい、頭から離れず、保健室で嘔吐してしまった子がいました。想像力も判断力も未熟な子どもが偶然見てしまう衝撃は大きいのです。

私はスマホもタブレットも小学生に自分専用はいらないと思っている古い人間です。もし今わが子が小学生なら、家族共有で中身は親きょうだいが見ても困らない使い方をする、自分の部屋には持ち込まないことを約束し、フィルターをかけて管理しようと思います。たくさんの便利なものがあふれる世界は楽しくもありますが、子育て中のみなさんは大変だと思います。ネットで調べればすぐわかる時代ですが、あふれる情報に悩まされることもあります。たまに保健室でおしゃべりしませんか?お気軽にお電話くださいね。